

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援あおむし		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 日20		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有を行い、子どもの状況に応じた支援を検討できている点	日暮のミーティングや記録を通じて、職員間での情報共有を行っている	情報共有の方法について、より分かりやすい形を検討していく
2	外出支援や地域資源の活用を通じ、生活体験の幅を広げる支援を行っている点	個別支援計画書の基づき、定期的に支援内容の振り返りや見直しを行っている	関係機関との連携機会を整理し、円滑な連携に繋げていく
3	職員研修や協議会への参加し、支援の質の向上に努めている点	保護者や関係機関との連携を意識した支援を行っている	職員の生美を支援に反映できるよう、研修内容の共有を行っている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報共有のタイミングや方法にばらつきが出ることがある点	日々の業務が多岐にわたり、共有の時間が陰られるため	情報共有のルールや方法を整理し、共通理解を図る
2	関係機関との連携機会が十分と言えない点	外部機関との連携について調性に時間を要する場合があるため	関係機関との連携を在り方を見直し、必要に応じて調性する
3	業務の整理や役割分担について検討の余地がある点	職員間での経験差があるため	職員間での意見交換の機会を確保し、業務の見直しに繋げる